

各種表彰予定と候補者推薦のお願い

医師を対象として、多方面にわたる表彰が行われており、当県でも毎年多くの方が受賞されています。ふさわしい方がおられましたら、郡市医師会を通してぜひご推薦をお願い申し上げます。

新潟県医師会 総務課

* 主な表彰を抜粋

(敬称略)

名称	功労内容	提出先	提出期	対象	応募資格又は推薦条件	最近の受章(賞)・表彰者
春・秋の叙勲	医事関係	県	毎年6月頃・12月頃	個人	1 類：年齢が70歳以上で、次の各号に該当する者 ①県段階の理事以上に10年以上在職、又は市・郡段階(会員20名以上)の理事以上に15年以上在職していること(在職していない場合でも、県段階の理事以上の歴を足し合わせて15年以上となるときは、市・郡段階の理事以上の役職で推薦可) ②原則として、厚生労働大臣表彰を受けていること 2 類：年齢が55歳以上で、次の各号に該当する者 ①山間へき地に所在する医療施設に勤務(へき地に常に往診していれば可) ②従事年数が25年以上であること ③原則として、厚生労働大臣表彰を受けていること(知事表彰受賞者を含むものがある)	令和7年秋 【旭日双光章】 渡辺雅晴(上越)
	学校保健	県教育庁	毎年6月頃・12月頃	個人	年齢が70歳以上で、次の各号のいずれかに該当する者 ①学校医としての業務歴が40年以上である者 ※児童生徒数の平均が概ね100人を超えている学校に通算40年以上勤務していることが原則として必要 ②学校保健、学校安全及び学校給食の分野において、国の発展に貢献し、あるいは社会公共の福祉の増進に寄与したと認められ、関係団体役員歴がおおむね20年以上の経歴を有する者	令和7年秋 【瑞宝双光章】 大関 忍(長岡市)
厚生労働大臣表彰	産科医療	県	毎年6月頃	個人又は団体	①個人については、当該年度4月1日現在において、20年以上産科医療に従事し、地域の産科医療の確保・推進に貢献してきた医師又は助産師であること ②団体については、10年以上地域の産科医療の確保・推進に貢献してきた団体(病院、診療所、助産所、関係団体等)であること	令和7年度 森川重文(新潟市)
	救急医療	県	毎年6月頃	個人	次に該当する者 当該年度4月1日現在において、救急医療の活動期間が15年以上、かつ55歳以上である者	令和7年度 廣瀬保夫(新潟市)
				団体	次に該当すること 当該年度4月1日現在において、救急医療の活動期間が15年以上であること	令和6年度 独立行政法人国立病院機構新潟病院

名称	功労内容	提出先	提出期	対象	応募資格又は推薦条件	最近の受章(賞)・表彰者
厚生労働大臣表彰	公衆衛生	県	毎年8月頃	個人又は団体	健康増進、疾病予防、生活衛生、衛生教育等の諸業務における功績が特に顕著であって、次の各号に該当する者 ①個人については、現に事業に携わっている者であって、原則として公衆衛生事業に従事した年数が20年以上又は団体の役員歴が10年以上であり、年齢が50歳以上であること。ただし、地方公共団体に在職する者については、保健所、健康増進関連施設、研究機関及び市町村に在職する者に限るものであること ②団体については、事業歴が10年以上であること ③原則として、公衆衛生事業に関する功績により、都道府県知事、保健所を設置する市の長、一般財団法人日本公衆衛生協会会長又は一般社団法人日本環境保健活動団体連合会会長の表彰を受けたことがあること	令和7年度 小池哲雄（新潟市）
文部科学大臣表彰	学校保健	県教育庁	毎年6月頃	学校医	次の各号に該当する者 ①学校医を概ね20年以上の経験者で、学校保健の推進に努め功績がある者 ②原則として県において、学校保健、教育功労等の学校教育関連の表彰を受けている者又は上記の要件を満たす者と同等、若しくはそれ以上の業績があると認められる者	令和7年度 太田 裕（長岡市）
				団体	次の各号に該当すること ①概ね20年以上にわたり、積極的に保健教育の推進に努め、県において学校保健の推進に功績があること ②県又は全国大会、研修会等において研究発表、指導助言等を積極的に行うなど、学校保健の全国的な水準の向上に寄与していること ③原則として、県において学校保健関連の表彰を受けていること	なし
県知事表彰	保健衛生	県	毎年6月頃	個人	表彰日現在で60歳以上であって、次の各号のいずれかに該当する者 ①30年以上同一の業務に従事し、その業務について特に著しい功績のあった者 ②当該団体の理事以上の職に20年以上在職し、当該団体の発展に功績のあった者	令和7年度 高橋慶一（上越） 佐藤一明（柏崎市刈羽郡） 森田 英（糸魚川市）
				団体	活動範囲が市町村の区域を越え、20年以上継続して活動し、かつ、今後も活動を継続するもの	

名称	功労内容	提出先	提出期	対象	応募資格又は推薦条件	最近の受章(賞)・表彰者
県知事表彰	学校保健	県教育庁	毎年6月頃	個人	学校保健に貢献し、顕著な功績をあげ、表彰日現在60歳以上で次のいずれかに該当する者 ①経験年数30年以上で、特に著しい功績のあった者 ②当該団体の理事以上の職に20年以上在職し、当該団体の発展に功績のあった者	令和7年度 堀内 貞(加茂市)
				団体	活動範囲が市町村の区域を越え、20年以上継続して活動し、かつ今後も活動を継続するもの	
県教育委員会表彰	学校保健	県教育庁	毎年6月頃	学校医	次の各号に該当する者 ①児童生徒の保健衛生及び体位の向上に努め、その功績が著しい者 ②原則として、その功績が全県に及ぶものであること。功績が市町村内に限られる者については、功績が特に顕著であること	令和7年度 井口正男(見附市南蒲原郡)
日本公衆衛生協会公衆衛生事業功労者表彰	公衆衛生	県	毎年6月頃	個人又は団体	①疾病の予防、保健指導、衛生教育等の公衆衛生業務に関する業績について、その功績が特に顕著であること ②総合的な地域保健の推進、環境保健に関する業績について、その功績が特に顕著であること ③個人の場合は、年齢が4月1日現在で50歳以上の者であって、次の一に該当する者 1)民間団体等において現に公衆衛生業務に従事している者(役員を含む)であって、原則として公衆衛生業務に10年以上従事している者 2)都道府県、市町村の職員(保健所及び市町村保健センターを含む)として、現に公衆衛生業務に従事している者であって、原則として公衆衛生業務に10年以上従事している者 ④団体の場合は、民間の団体等において現に公衆衛生業務に関する活動を行っており、活動歴が10年以上あるもの	令和6年度 小池哲雄(新潟市)
日本医師会最高優功賞		日医	毎年4月頃	個人又は団体	①日医会員又は医師会で、医学、医術の研究又は地域における医療活動により、医学、医療の発展又は社会福祉の向上に貢献し、特に功績顕著と認められるもの ②推薦年の4月1日時点で満70歳以上であり、かつ日医会員歴10年以上であること	令和7年度 堂前洋一郎(新潟市)

名称	功労内容	提出先	提出期	対象	応募資格又は推薦条件	最近の受章(賞)・表彰者
日本医師会赤ひげ大賞	地域に密着した保健衛生活動	日医	毎年8月頃	個人	次の各号に該当する者 ①病を診るだけでなく、地域に根付き、その地域のかかりつけ医として、生命の誕生から看取りまで、さまざまな場面で住民の疾病予防や健康の保持増進に努めている医師 ②日本医師会あるいは都道府県医師会の会員で現役の医師(ただし、現職の日本医師会・都道府県医師会役員は除く)	令和7年度 川室 優(上越)
保健文化賞(第一生命)	地域に密着した保健衛生活動	日医	毎年3月頃	個人又は団体	健康増進・疾病予防などの保健医療分野、高齢者・障がい者の保健福祉分野、少子化対策等、地域に密着した地道で身近な活動や実際的な活動をされている団体・個人 活動実績が原則として10年以上あり、かつ将来の活動も期待できる団体・個人	平成16年度 服部 晃(佐渡)
医療功労賞(読売新聞)	へき地医療救急医療	県	毎年7月頃	個人	過疎地域や離島、被災地など国内外の困難な環境下で、地域住民の健康増進・疾病予防・治療業務に献身的に携わっている医療従事者。もしくは、障害を持った方や難病者の支えとなる活動を行っている医療・福祉・介護分野の関係者で、次の各号に該当する者。 ①地域住民の支えとなる健康増進・疾病予防・治療などを行い、15年以上献身的に職務に励んで功績をあげた者で、現在も医療業務に従事していること ②年齢は原則として50歳以上の者 ③過去に褒章(紺綬褒章を除く)、叙勲、医療功労賞(本賞)、保健文化賞、障害者自立更生等厚生労働大臣表彰など天皇皇后両陛下への拝謁を伴う表彰を受けていない人	平成26年度 山田幸男(新潟市)
日本対がん協会賞	がん対策推進	日医	毎年5月頃	個人及び団体	概ね10年以上、対がん活動に従事しているもの 適正ながん知識の普及や啓発に対する功績 精度の高い各種がん検診の普及や推進に対する功績 奉仕活動や募金活動に対する功績 がんの早期発見および治療に関する調査・研究・開発での功績	平成26年度(個人) 小越和榮(新発田北蒲原) 令和元年度(団体) 新潟市医師会

名称	功労内容	提出先	提出期	対象	応募資格又は推薦条件	最近の受章(賞)・表彰者
朝日がん大賞(日本対がん協会)	がん予防全般	日医	毎年5月頃	個人及び団体	次の各号に該当する者 ①がんの予防や検診のあり方等の研究で、将来期待できる成果を挙げた個人や団体 ②画期的な検診機器の開発に関して功績を挙げた個人や団体 ③患者・治癒者を支える研究や活動などで顕著な貢献をした個人や団体	なし

新潟県医師会協力テレビ放送

新潟県医師会では県内の放送局と協力し、病気予防・健康相談・検診案内など、県民向けの健康情報を提供しております。是非ご覧ください。待合室などでもご利用ください。

■NST News タッチ「医師に聞く」コーナー

放送時間：18：09～19：00

(敬称略)

放送日	テーマ	出演者
5月27日(水)	ピロリ菌	新潟県労働衛生医学協会 プラーカ健康増進センター 成澤 林太郎
6月24日(水)	気管支喘息の治療法等	新潟大学医歯学総合病院 魚沼地域医療教育センター 特任教授 小屋 俊之
7月29日(水)	生理痛は我慢しないで	うえだクリニック院長 新潟県医師会副会長 上田 昌博
8月26日(水)	不登校	長岡赤十字病院小児科 新潟県医師会理事 田中 篤

*放送日、内容は予告なく変更になる場合がございます。予めご了承ください。